

氏名 本多 寛之  
授与した学位 博士  
専攻分野の名称 医学  
学位授与番号 博 甲第 6094 号  
学位授与の日付 令和元年 12 月 27 日  
学位授与の要件 医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻  
(学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目 Clinical Relevance of Blood Glicose and Gastroesophageal Reflux Symptoms to Depressive Status in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus  
(2 型糖尿病患者における血糖値・胃食道逆流症状とうつ状態の関連について)

論文審査委員 教授 山田了士 教授 岡田裕之 准教授 江口 潤

#### 学位論文内容の要旨

糖尿病と心理状態との臨床的関連性を明らかにするため、岡山大学病院と岡山市立市民病院の総合内科外来を受診した 2 型糖尿病患者 145 人を対象に、自己評価式抑うつ尺度 (SDS) と F スケール質問票 (FSSG) を用いて検討した。最終登録された 45 名で、SDS 高値群 (36 以上) は低値群 (36 未満) より FSSG が高い傾向にあった。随時血糖値 (PPG) と FSSG との間に有意な正の相関を認め ( $R=0.321$ ;  $*p<0.05$ )、特に酸逆流関連症状で有意な正の相関を認めた ( $R=0.455$ ;  $*p<0.05$ )。さらに SDS は FSSG と有意な相関を認めた ( $R=0.41$ ;  $**P<0.01$ )。抑うつ状態は GERD 関連症状の発現と密接に関連し、PPG の上昇が GERD 関連症状と関連していることを考慮すると、血糖の上昇が 2 型糖尿病患者のうつ状態に寄与することが示唆された。以上から、胃食道逆流症状と血糖値に関連する情報は、様々な症状を持つ糖尿病患者の心理的状态を知るのに役立つ可能性がある。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、糖尿病患者における心理的苦痛と逆流性食道炎の関連に着目し、岡山大学病院および岡山市立市民病院の総合内科を受診した 2 型糖尿病患者を対象に、各臨床情報と質問紙法の得点の関連を検討したものである。質問紙は自己評価式うつ尺度 (SDS) と F スケール質問票 (FSSG) が用いられた。その結果、随時血糖値と FSSG、特に酸逆流関連症状スコアとの正の相関が、さらに SDS と FSSG のスコアにも正の相関があり、こちらは FSSG では運動不全と酸逆流の両者の関連症状スコアが相関していた。これは 2 型糖尿病での高血糖と逆流性食道炎症状、また逆流性食道炎症状と抑うつ症状という組み合わせでの関連を示唆し、様々な生理学的機序が考えられるとともに、患者を総合的に診るための有用な知見と言える。

以上本研究は、2 型糖尿病患者の心身両面に影響する重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。